

S&Pがブラジルの格付けを引き下げ

2015年9月10日

<格下げ>

9月9日(現地、以下同様)取引時間終了後、格付会社S&P(スタンダード・アンド・プアーズ)がブラジルの自国通貨建て長期債務格付けを「BBB+」から「BBB-」に、外貨建て長期債務格付けを「BBB-」から「BB+」に引き下げました。また、格付け見通しは、引き続き「ネガティブ」となっています。

<格下げの理由>

S&Pは格下げの理由として、ブラジルの財政が悪化していること、また政府と議会の関係悪化により、財政再建に向けた取り組みが進みにくくなっていることを挙げています。

財政の悪化については、4-6月期の実質GDP(国内総生産)成長率が前年同期比▲2.6%とマイナス成長になったように景気の低迷が続いているため、税収が想定を下回っていることが挙げられます。

政府は8月31日に発表した2016年の当初予算で、基礎的財政収支を▲305億レアルの赤字としましたが、この背景には、政府は追加増税法案を盛り込む模様でしたが、連立与党内で事前の支持が得られなかったことがあるとみられています。これまで電力補助金の削減や年金受給要件の厳格化などの歳出カットに加え、燃料税の引き上げや工業製品税の引き上げなどの増税を実施してきましたが、さらなる追加策は困難と与党内で判断された模様です。

各格付会社のブラジル長期債務格付け

(2015年9月9日時点)

	自国通貨建て	外国通貨建て	見通し
ムーディーズ	Baa3	Baa3	安定的
S&P	BBB-	BB+	ネガティブ
フィッチ	BBB	BBB	ネガティブ

(出所)各種データを基に大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<今後の見通し>

今回の格下げは、発表時期が市場の想定よりも早く意外感があることや、見通しが「ネガティブ」と維持されたことから、ブラジルの金融市場は一時的に変動が大きくなると思われます。今回の発表を受けて、レビ財務相は財政再建へ取り組む意思をあらためて表明しました。また、格付会社という外部機関より財政再建の必要性があらためて示されたこととなります。今後については、政府の議会運営にこれまで以上に市場の注目が集まると考えられます。政府が議会からの支持を得て追加増税策や歳出削減策を年内にまとめ、基礎的財政収支の赤字を回避する来年度予算の策定の可否が注目されます。

ブラジル経済は、短期的な経済成長を犠牲にして、緊縮財政と金融引き締めを続けているため、マイナス成長となっていますが、こうした政策は中長期的にはブラジルが発展するための基盤作りとして必要な政策であり、投資家の信認を維持するための重要な取り組みと評価できます。

足元では、米国の利上げが控える中で、中国の景気減速への懸念が高まっており、世界的に金融市場が不安定となっています。ブラジルのファンダメンタルズや格付け、政局動向などにおいて、不透明要因が払拭されないため、短期的に市場は大きく変動する可能性があります。中長期的に現在の政策が実を結び、成長軌道に回帰することが期待されます。

以上